

(別添3)

**【川南町】  
校務DX計画**

**1 宮崎県「教育の情報化」推進プランにおける校務DXの取組について**

「宮崎県『教育の情報化』推進プラン」においては、「校務DX」に関する以下の3つの具体的取組を設定している。

**(1) 業務を支援するツールを活用した効率化の推進**

教職員の業務の負担軽減を図るため、業務を支援するツールを活用し、書類作成や情報共有、採点・集計等の作業の効率化を進める取組を行う。また、校務の効率化に関する好事例について、事例集や動画などを、共通ポータルサイト等への掲載を通して広く周知していく。

**(2) 次期校務支援システムへの移行**

次期校務支援システムへの移行に向けて、校務系・学習系ネットワークの統合によるデータ連携についての調査研究等、着実に準備を進めていく。

**(3) 校務における生成AIの活用推進**

業務の効率化や質の向上を図るため、生成AIの校務における活用について、国の実証研究における実践例等の情報を各学校に提供するなど、校務における生成AIの活用が推進されるよう支援する。

県が設定しているこれらの具体的取組をもとに、本町としての目指す方向性を設定し、関係各課と各学校が連携を図りながら進めていく。

**2 「校務DXチェックリスト自己点検結果」における課題等について**

「宮崎県『教育の情報化』推進プラン」に係る取組に加え、「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリストの自己点検結果」(文部科学省 令和6年2月実施)を数値化した結果では、対象の7校においては、宮崎県全域と比べると下回っている。

(対象7校:平均321.4点、宮崎県全域:平均358.2点)

また、対象7校間においても、取組には大きな差があり、特に以下の3点について、各学校と連携を図りながら校務DXの推進を図っていく必要がある。

**(1) GIGA環境・汎用クラウドツールの一層の活用**

対象7校を含めて、町内全ての教職員には、Google Workspace用の個人メールアドレスが付与されており、情報共有や連絡等にクラウドサービスが活用できる環境にある。自己点検の結果によると、「職員会議用の資料のクラウド上での共有」や「教職員向けの調査やアンケートのクラウドサービスの活用」、さらには「児童生徒への調査・アンケートにおけるクラウド活

用」といった校内におけるクラウド活用は、多くの学校で行われている。一方、「保護者からの問合せや連絡に係るクラウド活用」や「学校徴収金の口座振替」、さらには「クラウドサービスを活用した児童生徒向けCBT」といった「保護者や児童生徒を対象とした活用」については、課題が見られる。

これまで校内の業務が中心で進められてきたクラウドサービスの活用について、先進地域の事例を紹介したり、研修会を実施したりすることで、各学校におけるクラウドサービスの対象が保護者等にも広がるよう支援することが必要である。

## (2) FAX・押印等の制度・慣行の見直し

自己点検の結果によると、対象7校うち6校でFAXを活用している。また、対象7校全ての学校で、保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があると回答している。教育委員会としては、FAXや押印等について、制度・慣行の見直しを行うとともに、各学校やFAXでの送付や押印を求めている関係団体・事業者等を把握し、制度・慣行の見直しを図るよう求める働きかけを行う。

## (3) 教育情報セキュリティポリシーの策定

対象7校全てに、必要なセキュリティ対策を講じた上で、クラウド上のデータやサービスを活用することを前提とした「川南町立小中学校教育情報セキュリティポリシー」を令和6年12月に策定している。今後、本教育情報セキュリティポリシーの周知をさらに図るとともに、生成AIの活用など、国の方向性や現状を的確に把握しながら、随時改正を行っていく。

## 3 今後の校務支援システムの在り方について

校務支援システムについては、宮崎県統合型校務支援システム共同調達・運用協議会のもと、全県下で統合型校務支援システムの共同調達を行っているが、現行のシステムはネットワーク分離によるオンプレミス型運用であり、学習系で生成されつつある膨大なデータと校務支援システムに蓄積された校務系データとの連携が困難であったり、クラウドベースとなっておらず自宅等での校務処理ができなかったりするなどの課題が見られる。

そのため、校務支援システムの更新においては、国の「次世代の校務デジタル化実証事業」の成果を参考に、クラウド環境での校務の実施等を視野に入れ、県主導のもと、宮崎県統合型校務支援システム共同調達・運用協議会において検討を進めていく。

## 4 今後の計画について

これらの現状等を鑑み、今後は以下の項目について具体的な取組を設定し、重点的に校務DXを推進する。

- クラウドサービス活用の拡充
  - ・ 校務等におけるクラウドサービス活用についての情報提供
  - ・ 情報交換のためのポータルサイト等の情報提供
- 校務における生成AIの活用

- ・ 校務における生成AIの活用についての情報提供
- FAX・押印の見直しと校務支援システムへの手入力作業の一掃
  - ・ FAX、押印に関する実態把握と廃止の検討
  - ・ 校務支援システムへの手入力作業の一掃に向けての働きかけ
- 教育情報セキュリティポリシーの改訂
  - ・ 川南町教育情報セキュリティポリシー（R6.12）の周知・改訂